



文化の力・東京会議 2013
「文化の力で社会変革—文化から見た新しい経済像—」
開催・参加者募集のご案内

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて「東京文化発信プロジェクト」を展開しています。その一環として実施する「東京クリエイティブ・ウィークス(以下、TCW)」のスペシャルプログラム、国際会議「文化の力・東京会議2013」を10月25日(金)、都庁都民ホールで開催します。

文化の視点から「経済」を議論する

文化の力・東京会議では今年、「文化の力で社会変革—文化から見た新しい経済像—」として、社会形成に大きな影響を与える「経済」を取り上げます。昨今、世界の各地で、戦略的な文化政策で都市の魅力を高める「創造都市」の動きや、芸術・文化による地域活性を目指す試みがなされています。また「クリエイティブ・インダストリー」との概念のもと、幅広い産業分野で創造性や知的資本を活用し、経済振興を図る取り組みもあります。このように、文化の経済的側面、観光や産業への貢献といった「経済の視点からとらえた文化」はよく語られてきました。

今回の会議ではむしろ、文化の視点から経済について考えていきます。グローバル化がここまで進行すると、私たちの生活や社会は、世界の経済と無関係ではいられません。経済のあり方や経済観に芸術・文化の側から積極的に関わりながら国際的なネットワークの中で意見を交わし、各界の人々の思考や試みに基づき新しい経済像についてオープンな議論を行います。

(1) 文化と経済の専門家を国内外から迎えます

文化・メディア論のヨゼフ・フォグル氏(ベルリン・フンボルト大学教授)、経済学の岩井克人氏(国際基督教大学客員教授)による基調講演。続いて、「ともにしあわせになるしあわせ」を経営理念に謳うフェリシモ・矢崎和彦氏、別府で現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」を手掛ける山出淳也氏、クリエイティブ・エコノミーのフェレンシア・フタバラット氏、欧州の芸術文化の課題に精通するパスカル・ブリュネ氏も加わり、新しい経済像についてパネルディスカッションを行います。

(2) 3回目となる今年の国際会議

平成 23 年度の「FUTURE SKETCH 東京会議」では「新しい社会をデザインし、新たなつながりをつくるために」と「3.11 以後の文化の力」、平成 24 年度は「文化の力で社会変革—新しい社会像」をテーマに文化の重要性とポテンシャルについて意見を交わしました。今年は 10 月 25 日の本会議に向けて、6 月から 8 月にかけて企業経営者、アーティスト、デザイナー、英国アーツカウンシルの方とともに連続セミナーを開催してきました。その成果も踏まえ、「文化の力」を基軸とした新たな経済像に向けて議論を行っていきます。

(3) 開催概要

- 名称 : 文化の力・東京会議 2013
テーマ : 文化の力で社会変革—文化から見た新しい経済像—
日時 : 平成 25 年 10 月 25 日(金) 16:00~20:00(15:30 開場)
会場 : 都庁都民ホール 東京都庁 都議会議事堂1階(東京都新宿区西新宿 2-8-1)
参加費 : 無料 *日英同時通訳つき
定員 : 200 名 *応募者多数の場合は抽選になります
公式ウェブサイト: <http://tokyo-conference.jp>
申込 : ウェブサイト、又は、FAX にて受け付けます。詳細は、以下 3 頁をご参照ください。
主催 : 東京都、東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、
公益社団法人企業メセナ協議会
特別協力: 独立行政法人国際交流基金、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)
協力: ブリティッシュ・カウンシル

(4) 出演者プロフィール

ヨゼフ・フォグル | Joseph Vogl

【ベルリン・フンボルト大学教授、プリンストン大学客員教授】

1957年生まれ。ミュンヘン大学哲学部卒業後、同大学院博士課程修了。哲学博士。ヴァイマル大学メディア学部教授を経て、2005年より現職。専門分野は現代ドイツ文学、文学と文化、メディア。知の歴史・理論、近代における危険と危険性の歴史、ディスクール論、メディア論、18 - 20世紀の文学史等を研究。著書、『Das Gespenst des Kapitals (資本の亡霊)』(2010)で、一躍脚光を浴びる。ジル・ドゥルーズやジャン・フランソワ・リオタール等フランス現代哲学の翻訳も手がける。



岩井 克人 | Katsuhito Iwai

【国際基督教大学客員教授、東京財団上席研究員、東京大学名誉教授】

1947年生まれ。東京大学経済学部卒業、マサチューセッツ工科大学Ph. D。イェール大学助教授、コウルズ経済研究所上級研究員、プリンストン大学客員准教授、ペンシルバニア大学客員教授、東京大学経済学部教授、日本学術会議会員等を経て現職。著書に、『Disequilibrium Dynamics』、『ヴェニス商人の資本論』『貨幣論』『二十一世紀の資本主義論』『会社はこれからどうなるのか』『資本主義から市民主義へ』など。日経図書文化賞特賞、サントリー学芸賞、小林秀雄賞、M&A フォーラム正賞を受賞。紫綬褒章、ベオグラード大学名誉博士なども授与される。



パスカル・ブリュネ | Pascal Brunet

【Relais Culture Europe ディレクター】

フランス文化・コミュニケーション省、欧州委員会、フランス外務省の助成を得て、欧州の芸術文化関係者を支援する Relais Culture Europe ディレクター。特にコミュニティ・プログラム、文化政策、助成プログラム等に関する情報を発信し、戦略化、プロジェクト化を支援する。レンヌ・ブルターニュ国立振付センターのエグゼクティブ・ディレクター、振付開発プロジェクト「Isadora」共同ディレクター、ブルジュ実験音楽グループ事務局長などを歴任。欧州・国際文化協力に数年にわたって関わり、欧州・地中海協働ネットワーク「DBM」の設立メンバーでもある。



フェレンシア・フタバラット | Felencia Hutabarat

【クリエイティブ・エコノミー・コンサルタント】

1978年ジャカルタ生まれ。2011年までオランダの開発援助団体 HIVOS 東南アジア地域事務所のプログラム・オフィサーとして、国内・国際ネットワーク構築、知的交流、財政安定化、税制措置、文化の多様性問題、クリエイティブ・エコノミーなどを含む文化政策アドボカシーに関わる。特にインドネシア国内、インド、南アフリカの戦略的文化機関と密接な関係を築く。2012年から今年にかけてオランダのエラスムス大学で文化経済・カルチャーアントレプレナーシップを学ぶ。現在ジャカルタ・ブリティッシュ・カウンシルのクリエイティブ産業プロジェクトのコンサルタントを務めている。



矢崎 和彦 | Kazuhiko Yazaki

【株式会社フェリシモ代表取締役社長】

1955年、大阪生まれ。学習院大学経済学部卒業、神戸大学大学院経営学研究科修了。1978年、株式会社ハイセンス(現フェリシモ)入社、1987年より現職。「ともにしあわせになるしあわせ」を理念に、ダイレクトマーケティングと基金活動に取り組む。1995年よりユネスコ本部との共催によるデザイン 21 プロジェクトを運営。事業性、独創性、社会性の融合を目指すコーポレート・スタイル・デザイン経営が関心テーマ。元神戸経済同友会代表幹事。神戸市デザインアドバイザーボードメンバー、ソーシャルビジネスネットワーク常任顧問などを歴任。2010年毎日経済人賞受賞。



山出 淳也 | Jun'ya Yamaide

【NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事、アーティスト】

1970年大分生まれ。PS1 インターナショナルスタジオプログラム(2000~01、ニューヨーク)の後、文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002~04)。「台北ビエンナーレ」台北市立美術館、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館、「Exposition collective」Palais de Tokyo(パリ)など多数に出展。大分・別府にて、地域や多様な団体との連携による国際展をめざし、2005年に BEPPU PROJECT を立ち上げる。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー(2009、2012)、国東半島アートプロジェクト総合ディレクター(2012、2013)。平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)。



【議長】加藤 種男 | Taneo Kato

【東京都歴史文化財団エグゼクティブ・アドバイザー】

1990年にアサヒビール企業文化部課長就任以来、近年のアサヒビールの文化活動のすべてにかかわり、企業によるメセナ活動を幅広くリード。2010年より公益社団法人企業メセナ協議会理事、2012年より専務理事。NPOをはじめ、公益法人、企業、行政の顧問、理事、委員等を多数務める。アーツカウンシル東京カウンシル・ボード議長。2008年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞(芸術振興部門)。



撮影：中村佳代子

(5) 会議の構成

16:00-16:10	主催者挨拶
16:10-16:55	基調講演 I 「主権効果。経済レジームにおける市場と権力」 ヨゼフ・フォグル氏
17:05-17:50	基調講演 II 「日本の伝統芸能と資本主義の新しいかたち—芸術と経済の基底に倫理を見い出す」 岩井 克人氏
18:00-20:00	パネルディスカッション ヨゼフ・フォグル氏 岩井 克人氏 パスカル・ブリュネ氏 フェレンシア・フタバラット氏 矢崎 和彦氏 山出 淳也氏 [議長] 加藤 種男

(6) 申込方法

ウェブ	お申し込み専用フォーム(http://bit.ly/tokyoconference2013)から申込み
FAX	専用の申込み用紙に記入の上、03-5439-4521 に送信 ・専用の申込み用紙は、ホームページ(http://tokyo-conference.jp)からダウンロード可能 ・専用の用紙がダウンロードできない方は、必要事項を記載の上、上記番号に送信。 【必要事項】申込者の ①氏名、②所属【会社名・役職など】、③住所、④電話番号・FAX 番号、⑤メールアドレス(お持ちでない方は不要)、⑥ご希望の連絡方法(メールまたはFAX)
締め切り:	10月11日(金)17:00 まで受付
抽選結果:	10月15日頃までに、ご応募いただいた方全員に、ご希望の連絡方法にてご案内します。 (※なお、定員に達しなかった場合には、引き続き専用フォームから先着順にて受付を行います。)

●東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界へ向けて発信していきます。 www.bh-project.jp

東京クリエイティブ・ウィークス(TCW)参加事業

それは、都内各地で催される芸術文化が満載の5週間。
伝統芸能から現代アートにいたるまで、多彩な文化が一举に集結。
公式ホームページ tcw2013.jp



Tokyo Creative Weeks

10/1 Tue - 11/4 Mon

<この件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先>
東京文化発信プロジェクト広報事務局 担当:富樫、大原、三浦
TEL 03-3818-2465 FAX 03-5689-0455 E-mail tokyobunka@prinfo.co.jp